留学報告書

記入日：2026 年 5 月 16 日

基本情報	
所属学部・学科	経営学部　経営学科
性別	□男性　☒女性
留学先国	アメリカ合衆国
留学期間	2025 年　8 月～　2026 年　5 月
留学時の学年	2 年生（渡航した時の学年）
帰国年月日	2026 年　5 月　11 日
明治大学卒業予定時期	2028 年　3 月
留学先大学について	
大学名（英文・和文）	英文：University of North Carolina at Charlotte Belk College of Business 和文：ノースカロライナ大学シャーロット校　ベルク・カレッジ・オブ・ビジネス
所属学部またはコース名	
キャンパスの所在地	9201 University City Blvd., Charlotte, NC, 28223, U.S.
形態	□国立　☒公立　□私立　□その他
学年暦（Academic Year）	春学期：　1 月～　5 月（期末試験期間：　5/1～5/8　） 秋学期：　8 月～　12 月（期末試験期間：　12/5 ～12/10　）
所属学部の学生数	
留学生の割合	

留学にかかった費用

項目	現地通貨（ドル）	円	備考
授業料		円	☒ 交換留学のため，留学先への授業料免除
宿舎費	10020(ドル)	1,591,566 円	一学期：795,790 円
食費	5462(ドル)	867,810 円	一学期：433,905 円　(Daily plan with 300DB)のプラン。DB というのはキャンパス内の飲食店で使えるお金です。
通学費	0	0 円	徒歩
学校用品	480（ドル）	76,280 円	一単位につき 20 ドルなので人によって違う
教養・娯楽費	160 ドル	25,428 円	ピックルボールクラブに入部していたのでその費用
被服費	250 ドル	約 4 万円	人による
医療費	0	円	
保険費	0	円	明治と提携している東京海上の保険に入っていたため現地の保険に入らなくてよかった
渡航費	約 2500 ドル	約 400,000 円	JAL を使ったため高めだが、もっと安い航空会社を使用すればより安くなる
旅行費	約 2000 ドル	約 30 万円	アメリカ国内のみだが、ボストンキャリアフォーラムに行ったり、ワシントン D.C., フロリダ、ハワイに行った
語学学校	0	0 円	授業料： 宿泊費：

奨学金/助成金	約 6280 ドル	100 万円	奨学金：JASSO 助成金：
その他		円	
合計	約 20,872 ドル	約 330 万円	（奨学金分を差し引いた金額）

渡航について

1）航空券を購入した時期

☐留学先へ出願後　☒入学許可書受領後　☐ビザ取得後　☐出発直前　☐その他（　　）

2）どのように購入しましたか？

JAL 公式ホームページ

3）渡航経路を教えてください。

（往路）　羽田空港－ワシントン D.C. 空港（経由）－シャーロット空港
（復路）　シャーロット空港－ロサンゼルス空港（経由）－羽田空港

4）航空券代金

利用航空会社： JAL
往路： 47 万
復路： 30 万
合計： 77 万

5）渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。

落ち着いて、自分の持ち物を**絶対に**肌身離さず持っていてください。

留学中の滞在先について

1）種類（留学中の滞在先）

☒寮　☐アパート　☐ホームステイ　☐その他（　　）

2）部屋の形態

☒個室　☐相部屋（同居人数：　　）

3）住居の探し方

☒留学先機関が斡旋　☐自分で探す

4）大学までの利用交通機関と通学時間（片道）

利用交通機関	☐バス　☐電車　☐自転車　☒徒歩　☐その他（　　）
通学時間（片道）	20 分

5）滞在中の食事について

【平日】	【休日】
朝：☐寮　☐自炊　☐外食　☒その他（食堂）	朝:☐寮　☒自炊　☐外食　☐その他（　　）
昼：☐寮　☐自炊　☐外食　☒その他（食堂）	昼:☐寮　☐自炊　☒外食　☐その他（　　）
晩：☐寮　☐自炊　☐外食　☒その他（食堂）	晩:☐寮　☒自炊　☒外食　☐その他（　　）

6）滞在先に関する総合的な感想（これから留学する人のためのアドバイス）

キャンパスは誰でも入れるので夜 1 人で行動はしない方がいいです。また、キャンパス内には色々なルートを走るバスが沢山あるのでそれを活用するといろいろなところに行けます。

現地に関する情報

1）留学中は病院にかかりましたか？

☒はい（利用機関名:Atrium Health Urgent Care）☐いいえ

2）大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか？	
☒はい　☐いいえ　☐わからない	
3）学内外で問題があったときには誰に相談しましたか？	
現地の友達	
4）留学先大学に相談窓口はありましたか？	
☒はい　☐いいえ　☒わからない	
5）現地の危険地域に関する情報はどのように収集し，どう防犯対策をしましたか？	
情報収集	☐現地コーディネーター　☒友人　☐ネット（参考サイト：　　） ☐その他（　　）
防犯対策	ペッパースプレーを友達からもらい、ずっと携帯していた。
6）実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？	
☐はい　☒いいえ	
7）6 で「はい」と答えた方：その際どのように対処しましたか？	
8）パソコン，携帯電話，インターネットについて，現地での利用状況はいかがでしたか？	
パソコン	良好
インターネット	良好
携帯電話	良好
9）現地での資金調達はどのように行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。	
色々な国のお金を入れられるキャッシュパスポートを日本から持参して日本の親になくなるたびに入金してもらっていた。	
10）日本から持参すべき物があればご記入ください。	
鍋と簡単な調理器具はあると便利。インスタントのスープ等、お湯だけで作れる食料（アメリカには無い、かつ食堂等が閉まっているときがあるから）	
進路について	
1）進路	
☐就職　☐進学　☒未定　☐その他（　　）	
2）進路選択はいつ・どのようにされましたか？	
3）就職を選択した方は，内定時期とその企業を選んだ理由を教えて下さい。	
内定時期	
企業名	（差支えなければご記入ください）
業界	
その企業或いは業界を選んだ理由	
4）就職活動について，留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。	
キャンパス内にキャリアセンターがあります。また、11 月ごろにボストンキャリアフォーラムがあるのでそれに行ってみるのもいいと思います。	

5）進学を選択した方は，進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えて下さい。	
進学先決定時期	
進学先	（差支えなければご記入ください）
その進学先を選んだ理由	
6）進学について，留学希望者に向けたアドバイスをお願いします（試験対策など）。	
7） その他を選択した方は，今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。	
より海外で働きたいという思いが強くなった。	

留学に関するタイムチャート

２０２４年９月～ ２０２５年１月 募集要項公開～選考試験日	・協定留学募集要項を確認 ・学内選考
２０２５年１月～３月 合格発表後～出願準備期間	・ノースカロライナ大学シャーロット校　ベルクカレッジ・オブ・ビジネス　（UNCC）への出願準備 ・書類提出
２０２５年３月～６月 出願後～渡航の準備	・UNCC より入学許可書を受領 ・奨学金申し込み ・UNCC の留学担当オフィス（ISSO）と連絡 ・寮、Meal Plan、履修登録等
２０２５年７月 留学開始直前	・航空券の購入 ・UNCC からもらった留学前のやることリストを確認 ・パッキング
２０２５年８月 留学開始	・渡米 ・UNCC（University of North Carolina at Charlotte）で留学開始 ・オリエンテーション
２０２５年８月～ ２０２６年５月 留学中	・授業を受講 ・ピックルボールクラブに入部、活動 ・現地の友達と遊ぶ

２０２６年５月 帰国後	・帰国 ・明治大学経営学部に書類提出

留学体験記

あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。	
まず、将来海外で働きたいという夢があったので、それに向けての第一歩目にしたいと思ったからです。また、自分の英語力でどこまでできるのか挑戦したかったからです。そして、アメリカの文化を学び、自分の価値観を広げたいと思ったからです。	
語学について	
受験した語学能力試験	☒TOEFL-iBT　☒TOEIC　☐IELTS　☐その他（試験名：　　）
ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法	洋書、洋楽を聞く、洋楽を歌う、洋画を見る、できるだけ英語を話せる環境に出向き、英語を話すことです。
総合的なアドバイス	沢山英語をインプットだけじゃなくアウトプットすることです。
この留学先を選んだ理由を教えてください。	
学部間協定留学の中で唯一のアメリカの大学であり、かつキャンパスの雰囲気に魅かれたからです。	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気を教えてください。	
大学（キャンパス）	ゆったりして落ち着く自然豊かな環境です。
学生	自分に自信を持った素敵な学生ばかりです。
現地での交友関係について教えてください。	
正規学生との交流	ピックルボールクラブ、留学生向けイベント、国際交流イベント（International Coffee Hour など）で人に沢山話しかけ最初は誘われたらなるべく全部行って友達を増やしました。
留学生との交流	最初のオリエンテーションで日本人の留学生とは出会い、それ以降もたびたび情報共有したりご飯を食べたり遊んだりしました。
留学先大学主催のイベントについて教えてください。	
International Coffee Hour, Gold Rush, International Festival, Thrift Events 等があります。	
課外活動について教えてください。	
私はピックルボールクラブに入りましたが、多種多様なクラブがあります。また、授業の中にはインターンシップもあります。シャーロットにはアジアンフードのイベントや、コンサート、ホッケー、バスケの試合等もたびたび開催されています。	
一日の課題の量を教えてください。	
毎日 1～2 時間はかかります。	
期末試験について教えてください。	
授業によりますが、大体学期末の 2 週間のうちにあり、形式は様々です。	

留学先で直面した困難（壁）について教えてください。
移動手段が限られています。何かあった時に頼れる現地の友達を作りましょう。犯罪、大麻には気を付けてください。公共のバス、電車、ライトレールは遅い時間は避け、誰かと乗ってください。
これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。
思いっきり楽しんでください！安全にも気を付けてください。留学したからには、現地の人たちと関わったり、色々なイベントに参加したり、そこでしかできないようなことを沢山経験してください！一生に残る思い出になると思います。

留学先で履修した授業科目

記入日：2026 年 5 月 16 日

学習レポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください）	
1)留学先	ノースカロライナ大学シャーロット校ベルクカレッジ・オブ・ビジネス
2)留学先で取得した単位数	21
3)本学で認定された単位数	☒　　15 単位 ☐現在単位認定中（認定予定の単位数：　　） ☐単位認定はしません （理由：　　）
4) 留学先で履修した科目について	
履修した授業科目名①	
Global Social Science: Economics of Global Issues	
科目設置学部	Economics
履修期間	4 ヶ月
留学先の単位数	3
帰国後の単位認定	☒3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐単位認定しません
授業形態	☒講義形式　☐チュートリアル　☐その他（　　）
授業時間数	1 回 5 0分の授業が週 3 回
担当教授	Angela Du
授業内容	国際経済
試験・課題など	試験が 4 回
感想を自由記入	履修することで国際的な経済状況を学ぶことができる
履修した授業科目名②	
Global Social Science: Global and Intercultural Communication	
科目設置学部	Communication
履修期間	4 ヶ月
留学先の単位数	3
帰国後の単位認定	☒ 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐単位認定しません
授業形態	☒講義形式　☐チュートリアル　☐その他（　　）
授業時間数	1 回 75 分の授業が週 2 回
担当教授	Dean Kruckeberg
授業内容	国際問題について
試験・課題など	試験が 3 回
感想を自由記入	履修することによって国際問題について学ぶことができる
履修した授業科目名③	

Teaching Practicum	
科目設置学部	Japanese
履修期間	4 か月
留学先の単位数	3
帰国後の単位認定	☒1 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐単位認定しません
授業形態	☐講義形式 ☐チュートリアル ☒その他（ 日本語の授業のアシスタント ）
授業時間数	１回５０分の授業が週３回
担当教授	Yukiko Yokono
授業内容	日本語の授業のアシスタント
試験・課題など	中間レポートと最終レポート
感想を自由記入	漢字やひらがななどの日本語や日本文化の丁寧な教え方を学ぶことができ、日本語に興味がある人と関わることができる

履修した授業科目名④	
Global Social Science	
科目設置学部	International Studies
履修期間	4 ヶ月
留学先の単位数	3
帰国後の単位認定	☒3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐単位認定しません
授業形態	☒講義形式 ☐チュートリアル ☐その他（ ）
授業時間数	１回５０分の授業が週３回
担当教授	Garth Green
授業内容	グローバライゼーションについて
試験・課題など	試験が 3 回
感想を自由記入	経済、環境、テクノロジーなど幅広く国際的なことが学べる

履修した授業科目名⑤	
General Psychology	
科目設置学部	Psychology
履修期間	4 ヶ月
留学先の単位数	3
帰国後の単位認定	☒3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐単位認定しません
授業形態	☒講義形式 ☐チュートリアル ☐その他（ ）
授業時間数	１回 75 分の授業が週１回
担当教授	Jordan Lyerly
授業内容	基礎的な心理学全般

試験・課題など	試験無し・課題が毎週３種類ほどでる
感想を自由記入	脳の働き方、記憶の仕方、睡眠等々について幅広く学ぶことができる
履修した授業科目名⑥	
Teaching Practicum	
科目設置学部	Japanese
履修期間	4ヶ月
留学先の単位数	３
帰国後の単位認定	☒３単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 ☐単位認定しません
授業形態	☐講義形式 ☐チュートリアル ☒その他（ 日本語の授業のアシスタント ）
授業時間数	１回７５分の授業が週２回
担当教授	Yukiko Yokono
授業内容	日本語の授業のアシスタント
試験・課題など	中間レポートと最終レポート
感想を自由記入	漢字やひらがななどの日本語や日本文化の丁寧な教え方を学ぶことができ、日本語に興味がある人と関わることができる